

1. 活動の概要

5月18日(月)、雲南市立加茂小学校の『心に残る文化財子ども塾』を実施しました。バス3台で加茂岩倉遺跡・荒神谷遺跡の現地見学を行い、勾玉作り体験を行いました。

加茂岩倉遺跡では学級ごとに別れ、1組は埋蔵文化財調査センター職員の案内で銅鐸出土地へ、他の組はガイダンス棟でビデオを見るとともに、ボランティアさんからの説明を聞きました。

加茂岩倉遺跡見学後は再びバスで荒神谷遺跡公園へ。同様に学級毎に展示室の見学と現地の見学を行いました。

昼食後は勾玉作り体験。四角い原石からやすりやサンドペーパーを使って勾玉の形に削っていきます。粉だらけになりながらがんばっていました。

2. 活動の様子



加茂岩倉遺跡の銅鐸出土地でレプリカを見ながら説明を聞いています。



ガイダンス施設で、ビデオ見学。



荒神谷遺跡でも出土地を間近に見ながら。



お待ちかねの勾玉作りです。まずは説明を聞いて、



勾玉の形をイメージしながら、原石に鉛筆で絵を描き、やすりで削っていきます。

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・加茂岩倉遺跡や荒神谷遺跡で、青銅器がどういう感じで見つかったがわかってよかった。
- ・縄文時代や弥生時代の他にもいろいろな時代の暮らしが知りたい。
- ・銅剣を造ってみたかった
- ・本物の銅鐸をさわってみたい

2) 担任の先生から

- ・実際に出土地点に行き、出土した時の状態を見たり話を聞いたことで自分たちの住む地域のすばらしさを感じることができたことは良かった。

3) 埋文センターから

現地の雰囲気を見て、古代の人々の息吹を身近に感じてもらえたのではないのでしょうか。こうした活動をきっかけに、地域の歴史に興味を持っていただきたいと思います。